

情報サービス業とは（市場と雇用）

わが国の情報通信業は、通信、情報サービス^(*)、インターネット附随サービス、放送等の各分野からなる産業です。

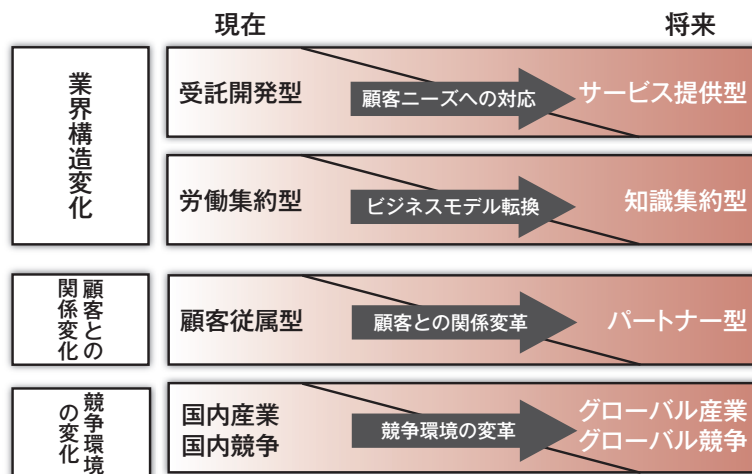
そのうち情報サービスは、社会の情報インフラを構築・運用する役割を担い、この分野だけでも売上高 18 兆円、従業者 91 万人をかかえる産業（2012 年 経済センサス-活動調査）です。

経営環境の変化

わが国の情報サービス業の市場は、IT 活用の共有化、クラウドコンピューティング^(*)の急速な進展、顧客企業のグローバル化などにより、大きく変わろうとしています。

特にソフトウェア・情報サービス市場は、サービス化、知識集約化、パートナー化^(*)及びグローバル化の四つの大きな変革の潮流のまっただ中にあります。従来の経営スタイル（下図「現在」）や仕事のやり方のみでは、経営環境の変化への素早い対応は難しい状況となっています。

情報サービス業の労働者を取り巻く環境も変化しており、これらも踏まえたワーク・ライフ・バランスへの取組の推進も必要です。



出典：情報サービス産業協会「情報サービス産業を巡る市場環境に関する調査」（2009 年）

■世界の情報サービス業

コラム

IT エンジニアは情報サービス企業に限らず世界各国で活躍しており、特にアメリカでは、情報サービス企業以外で働く IT エンジニアが多く、230 万人を超えています。わが国でも情報サービス業の人材に加え、IT を活用する側にも優秀な IT エンジニアがおり、企業のビジネスモデル改革や新たなビジネス市場を創造するよう変わってきています。

出典：(独) 情報処理推進機構「グローバル化を支える IT 人材確保・育成施策に関する調査」（2011 年）

^(*) 情報サービス：コンピュータなどの機械やコンピュータプログラム（ソフトウェア）などの情報基盤を提供すること、またはそれらを活用して情報を扱うサービス

^(*) クラウドコンピューティング：インターネットに接続できるパソコンなどの端末があれば、さまざまなコンピュータ機能を利用できるようにするサービス・技術の総称

^(*) パートナー化：対等の立場で顧客のビジネスにおける課題とリスクを共有し、解決のための提案を行う関係